2023年度　マレーシア日本語教育実習プログラム

■研修期間　2023年12月23日～2024年1月9日

■派遣学生数　4名

■研修費用　約 15 万円（航空券代、ホテル代、保険料、その他空港税等）

■補助金

独立行政法人国際交流基金「大学連携日本語パートナーズ派遣プログラム」採択事業 本プログラムは上記プログラムに採択されており、国際交流基金より 4 名に対して、1 人 116,090 円

■単位認定　日本語教育実習　1 単位

■研修日程

	日時	内容	滞在先
1	12/23（土）	福岡空港→スワンナプーム空港→ペナン空港	ホテル
2	到着後～	マレーシア科学大学にて日本語教育実習。 日本語を第 2 外国語として勉強している学生に向けて日本語を教えます。その他にも授業見学、日本語学科の学生との交流する機会もあります。	
3	1/8-9（火・水）	ペナン空港→スワンナプーム空港→福岡空港	

プログラム参加レポート

プログラム名	2023年度　マレーシア日本語教育実習プログラム

1	どのようなことを活動しましたか。 ・マレーシア科学大学で日本語の授業を担当しました。日本語の魅力や日本文化の楽しさを感じられるようになるべく日本語で授業を行うことを意識しました。また学習者の意欲が高まるように自身の経験を取り入れて授業を進めていきました。
2	活動を通して何を学びましたか。 ・日本語教育の現状や日本語教師としてどうあるべきかを学ぶことが出来ました。 ・大学があるペナン島の観光政策や観光地の具体的な取り組みについて知る機会になりました。 ・外国人と会話するときは、恥ずかしがらずに英語を話すことや日本語で伝えるときには一文を短くはっきり言うことで相手に自分の意志が伝わることを学びました。 ・マレーシアは多民族国家であることもあり、さまざまな文化や宗教が尊重されていることを知りました。今後はコミュニケーションを取る際にその人の文化背景や宗教の配慮をした接し方をしていきたいです。 ・海外に行くことは新たな文化を学ぶ機会にはなりますが、それと同時にさまざまな不安な気持ちに直面することを実感しました。その気持ちが理解できたからこそ今後は外国人に対し寄り添う気持ちを忘れずに接していきたいです。
3	活動を通して困難だったことはありますか。 ・交流を深められた人数が少なかったことです。 ・授業の時間配分が難しく、習ったことを発話し練習する時間をあまり提供できませんでした。